

伸びよう 伸ばそう 青少年

三つの基本姿勢

- (1)子どもや青少年をしっかり見つめる
- (2)大人が変われば子どもも変わる
- (3)さんかけ運動を推進する

(1)子どもや青少年をしっかり見つめる

市内の子どもや青少年の実態を把握して、私たち大人がやるべきことを見極め活動することが大切です。



入学期・11月の教育月間に合わせて、学校と合同であいさつ運動を実施。平成29年度は計8校で実施。

青少年育成稲敷市民会議の主な事業

(2)大人が変われば子どもも変わる

「子どもは、社会を映す鏡」。そんな考えに立つてみると、私たち大人が、まず、しなければならないことがあります。

それは、親や大人が自らの姿勢を正し、子どもの手本になるとともに、社会全体のモラルや地域の教育力を高めていくことではないでしょうか。身近なところから、できることから始めましょう。

(3)さんかけ運動を推進する

「さんかけ運動」は『青少年 気にかけて 目をかけ 声かけよう』のキャッチフレーズで、子どもや青少年をいつも多くの大人が気にかけていて、また、みんなが目を向けていて、必要なら一声かけようという運動です。

いつも気にかけてたり、目をかけることによって子どもや青少年の実態を知るだけでなく、大人との絆づくりを期待しようというものです。



『のぼり旗』の作成
推進のぼり旗を作成し、市内の幼稚園・小中学校・保育園・各庁舎公民館などへ掲げ、運動を展開

活動内容

青少年育成稲敷市民会議ではこのような活動をしてきました。

『映画会』の開催

子ども達の夏休み期間に合わせて、青少年向けの映画を上映しています。29年度は7/16(日)に江戸崎公民館で開催し、子どもから大人まで435名に鑑賞いただきました。

今年度も開催予定(7/15(日))ですので、ぜひ親子でご覧ください。

『ボランティア清掃作業』

毎年子ども会育成連合会と合同で清掃活動を行っています。29年度はあずま生涯学習センター周辺で実施し、53名の参加をいただきました。



『講演会』の開催

平成29年度は8/22(火)に「中学生に夢を与える講演会」を開催し、11/26(日)に稲敷市PTA連絡協議会と「青少年健全育成講演会」を合同で開催しました。

保護者、中学生からも好評をいただいております。



「自転車で遠くに行こう」
自転車冒険家・看護師 埜口保男氏



「才能をつぶす子育て、
伸ばす子育て」
サイエンス作家 竹内 薫氏

『広報紙』の発行

広報部を中心に市民会議の活動内容を広く市民の方にお知らせするため、広報紙「わかくさ」を発行し、市内全戸へ配布しています。



『主張大会』の開催

大会部を中心に「稲敷市青少年の主張大会」を開催しています。青少年が考えていることを社会に主張することで、社会の一員としての役割を自覚すること、また、大人が青少年の理解と認識を深めることが目的です。



会場：江戸崎公民館
*市内4中学校と4小学校、
1高等学校の代表が主張発表

『主張大会作文集』の発行

「稲敷市青少年の主張大会」の作文集を作成し、配布しています(図書館、公民館でご覧いただけます。また、回覧を予定しています。)



青少年育成稲敷市民会議

事務局：稲敷市教育委員会 生涯学習課

稲敷市犬塚1570番地1
TEL 029(892)2000(代表)
FAX 029(893)0388